FPG
Financial Products Group

We're true professionals

2013年9月期　第1四半期
決算説明資料
（2012年10月-2012年12月）

株式会社FPG
(code:7148)
東証1部

TOKYO STOCK EXCHANGE
東証一部上場

2013年1月

目次

FPG
Financial Products Group

P3　2013年9月期　第1四半期　業績ハイライト
P4　各四半期の売上高偏重傾向について
P5　東証一部上場に伴う3つの効果
P6　東証一部上場に伴う3つの効果　～販売面～
P7　東証一部上場に伴う3つの効果　～資金調達面・案件組成面～
P8　2013年9月期　第1四半期　営業面・その他レビュー
P9　2013年9月期　第1四半期　営業概況
P10　2013年9月期　第1四半期　タックス・リース・アレンジメント事業の状況
P11　2013年9月期　第1四半期　タックス・リース・アレンジメント事業の状況
P12　2013年9月期　第1四半期　出資金に含まれる手数料について
P13　2013年9月期　第1四半期　後発事象
P14　事業概略図　収益構造の多角化に向けた取り組み
P15　2013年9月期　第1四半期　財務ハイライト
P16　2013年9月期　第1四半期　損益計算書
P17　2013年9月期　第1四半期　貸借対照表
P18　2013年9月期　業績予想に関して

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

FPG
Financial Products Group

2013年9月期　第1四半期
業績の総括



2013年9月期　第1四半期　業績ハイライト

FPG
Financial Products Group

2012年10月に東証一部に上場。上場に伴う信用力・知名度の向上により、顧客紹介者との提携が進んだことに加え、前期に引き続き復興特需企業からの出資ニーズ、事業承継による大口出資等も見られるなど、顧客（投資家）からの強い引き合いに対応するべく、第2四半期に販売予定であった出資金を当四半期に前倒しで販売。結果、出資金販売が大きく伸長し、売上高が大幅に増加。
業容拡大の為の人員増に伴う人件費等も増加したものの、売上の増加がコストを吸収し、増収増益を達成。

【百万円】	2012年9月期 1Q	2013年9月期 1Q	対前年同期比増減	対前年同期比増減率	2013年9月期（通期予想）	通期予想進捗率	2013年9月期（上半期予想）	上半期予想進捗率
売上高	343	1,297	954	278.1%	3,364	38.6%	1,781	72.8%
営業利益	78	824	745	947.7%	1,621	50.9%	910	90.6%
経常利益	45	748	703	—	1,469	51.0%	786	95.2%
四半期（当期）純利益	22	459	437	—	853	53.9%	456	100.7%

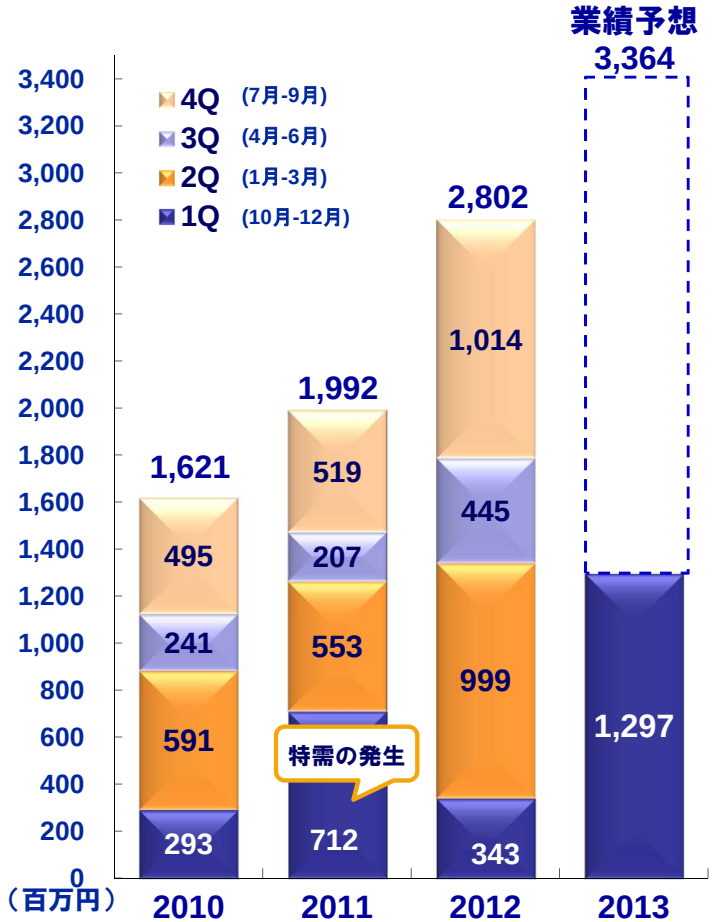
Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

各四半期の売上高偏重傾向について

FPG
Financial Products Group

投資家がリース事業に出資するか否かの意思決定は、投資家自身の業績動向が判明する決算月近くに行われる傾向があります。そのため、当社の売上高は、当社案件に投資していただく投資家の決算月（9月・3月決算）が集中する、当社の第2四半期及び第4四半期に偏重する傾向があります。

当四半期においては、第２四半期に販売予定であった出資金を、前倒しで販売しており、現時点でのリース事業の組成見込と出資金の販売見込に基づくと、第２四半期よりも、当四半期に売上高が偏重すると見込んでおります。



単位：百万円	第１四半期 会計期間	第2四半期 会計期間	第3四半期 会計期間	第4四半期 会計期間	通期
	10月から12月	1月から3月	4月から6月	7月から9月	合計
2011年9月期					
売上高	712	553	207	519	1,992
売上高割合	35.7%	27.8%	10.4%	26.1%	100%
2012年9月期					
売上高	343	999	445	1,014	2,802
売上高割合	12.2%	35.7%	15.9%	36.2%	100%
2013年9月期					通期予想
売上高	1,297				3,364
売上高割合	38.6%				100%

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

東証一部上場に伴う3つの効果

FPG
Financial Products Group



上場効果（信用力の向上）を享受

販売力

投資家（顧客）からの信用力の向上

引合いが増加し、販売が加速。
信用力向上が投資家獲得に寄与。

販売提携先（紹介者）からの信用力の向上

会計事務所・金融機関との提携が
進み、販売ネットワークが拡大。

資金調達力

金融機関からの信用力の向上

相対取引行数、資金調達枠が
飛躍的に拡大。

案件組成能力

賃借人からの信用力の向上

海外の大手航空会社・海運会社等
新規賃借人との取引が拡大。

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

東証一部上場に伴う3つの効果　～販売面～

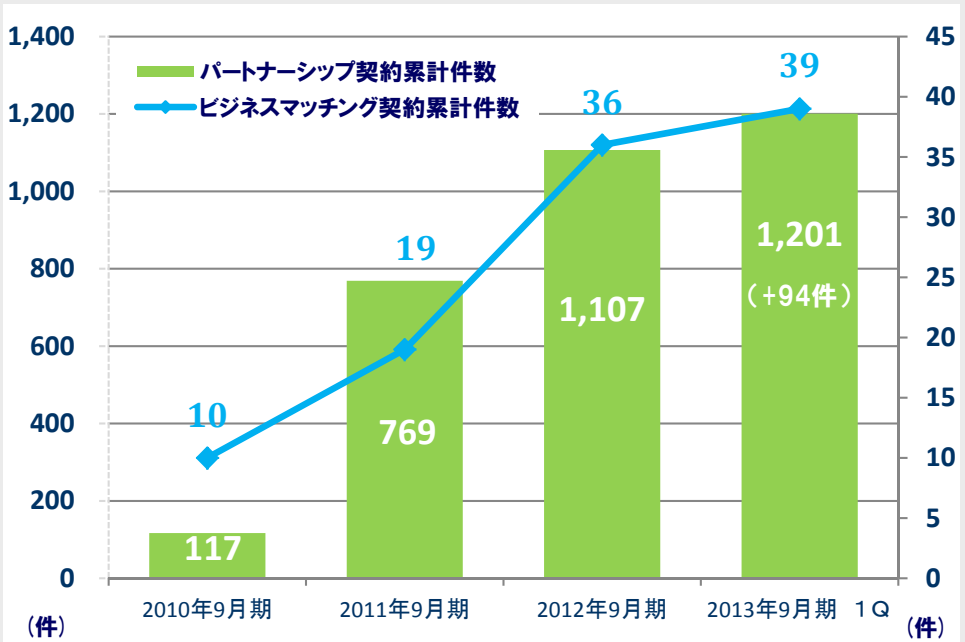
FPG
Financial Products Group

ネットワークの開拓・拡充により広がる販売網

1200を超える会計事務所とのパートナーシップ契約を積極推進、販売網を拡充。39の金融機関、特に地銀との提携により紹介が進み出資金販売が加速。

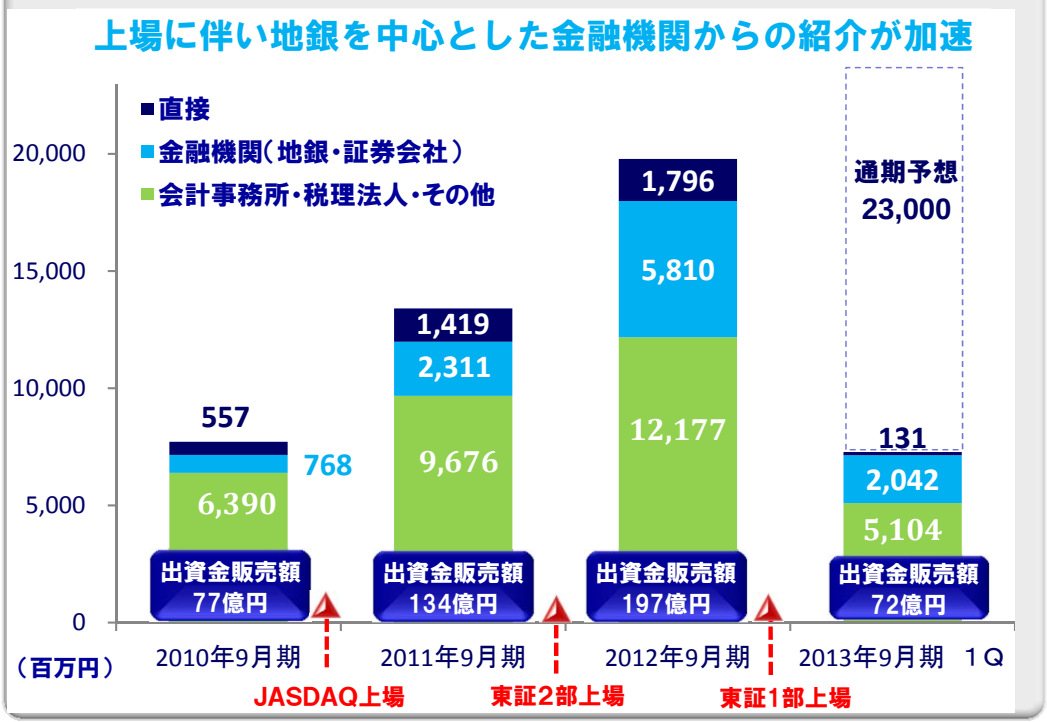


会計事務所とのパートナーシップ契約件数と金融機関とのビジネスマッチング契約件数（累計）



＊2010年においてはパートナーシップ契約導入前であり、顧客紹介契約数をカウント。
2011年度以降においてはパートナーシップ契約数のみをカウント。

会計事務所ルートと金融機関ルートによる出資金販売額の推移



Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

東証一部上場に伴う3つの効果　～資金調達面・案件組成面～

FPG
Financial Products Group

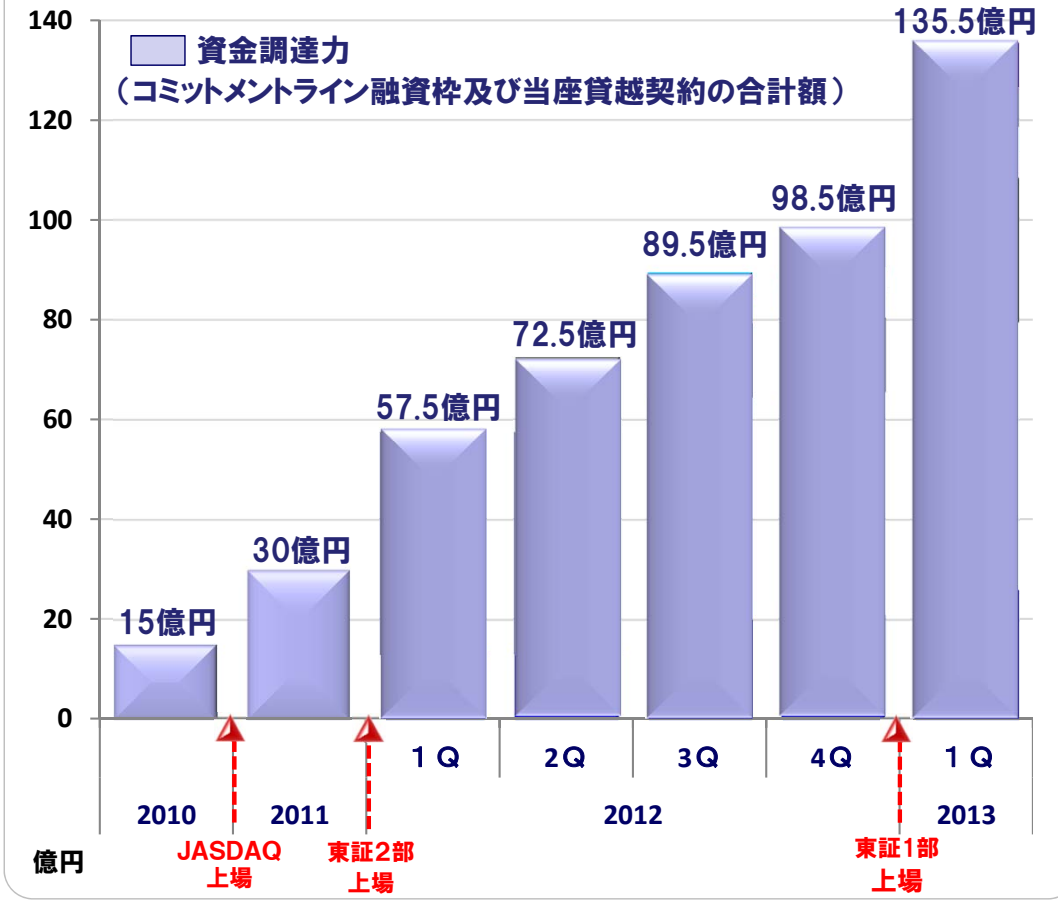
資金調達力の拡大

前期末98.5億円であった資金調達枠は135.5億円に飛躍的に拡大。

コミットメントライン融資枠契約を締結（５億円以上）

- 2012年10月30日　三井住友銀行(シンジケート）と53.5億円
- 2012年11月20日　みずほ銀行（シンジケート）と29億円
- 2012年11月20日　千葉銀行（シンジケート）と9億円

当座貸越契約も拡大し、総額26億円へ。



案件組成の拡大

新規賃借人との取引を開始。

アジア大手航空会社を賃借人とする航空機２機を対象としたリース事業を開始。

- **リース開始時期：**2012年12月3日及び12月21日
- **リース対象物件：**A320-200型 航空機2機

欧州一流航空会社を賃借人とする航空機２機を対象としたリース事業を開始。

- **リース開始時期：**2012年10月25日及び11月21日
- **リース対象物件：**B737 - 800型 航空機2機

案件組成の強化

当社合弁会社によるシンガポール支店の開設。

当社のオランダにおける合弁会社FPG Asset & Investment Management B.Vのシンガポールにおける100%出資子会社である、FPG Asset & Investment Management Asia Pte. Ltd.が設立・稼働。

同社から独占的な案件の供給を受けることで、オランダを中心としたヨーロッパ圏のみならず、シンガポールを中心としたアジア圏において、海外リース事業における同社を介した独占的な組成サポート（新規賃借人の開拓や関係強化の他、ダイレクトな案件の供給）を受ける体制を構築。

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

2013年9月期　第1四半期　営業面・その他レビュー

FPG
Financial Products Group

営業面

販売環境

極めて良好な販売環境

前期に引き続き、土木建築関連企業を中心とした復興需要や、法人税率の引き下げを背景に、業績好調で、課税の繰り延べニーズがある顧客（投資家）からの出資金に対する需要は強く推移。

取り組み

積極的な人材採用による営業部門の強化

前期末55名⇒当四半期末 70名へ、15名増員。（営業員9名、その他管理部門等6名）

＊今期、取締役であった３名が執行役員に就任したため、当該執行役員を従業員数としてカウント。

当社合弁会社によるシンガポール子会社の開設

同社を通して、シンガポールを中心としたアジア圏における、新規賃借人の開拓及び海外リース事業案件の組成能力の向上を見込む。

その他

スタンダードチャータード銀行との業務提携の解消（2013年1月末見込）

スタンダードチャータード銀行プレミアサービスの日本撤退に伴い、同社との銀行代理業にかかる契約を解除。

その他ハイライト

- 2012年10月22日　東京証券取引所　市場第一部に上場。
- 公募増資及び第三者割当増資により合計1,011百万円を調達。全額を短期借入金の返済資金として、当四半期中に充当。
- 意思決定の迅速化と、業務執行機能強化による経営の効率化を図るべく、執行役員制度を導入。

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

FPG
Financial Products Group

2013年9月期　第1四半期　営業概況



2013年9月期　第1四半期　タックス・リース・アレンジメント事業の状況

FPG Financial Products Group

リース事業の組成面においては欧州一流航空会社及びアジア大手航空会社と新規取引を開始。組成総額は対前年同期比109.2%増の221億円を記録。

販売面においては、上場に伴う信用力・知名度の向上により、顧客紹介者との提携が進んだことに加え、前期に引き続き復興特需企業からの出資ニーズ、事業承継による大口出資等も見られるなど、顧客（投資家）からの強い引き合いに対応するべく、第2四半期に販売予定であった出資金を当四半期に前倒しで販売。
結果、出資金販売額は対前年同期比210.2%増の72億円となった。

（百万円）		2012年9月期　1Q	2013年9月期　1Q	増減	2012年9月期	2013年9月期 通期予想
オペレーティング リース事業 組成金額		10,585	22,149	11,564	47,289	71,860
出資金販売額		2,346	7,278	4,932	19,785	23,000
	船舶	625	6	△618	3,159	
	コンテナ	1,425	4,093	2,667	9,334	
	航空機	295	3,178	2,883	7,291	
販売社数（件数）		55	124	69	414	
タックス・リース・アレンジメント 事業売上高		316	1,245	928	2,665	
手数料（売上高／出資金販売額）		13.5%	17.1%	3.6	13.5%	

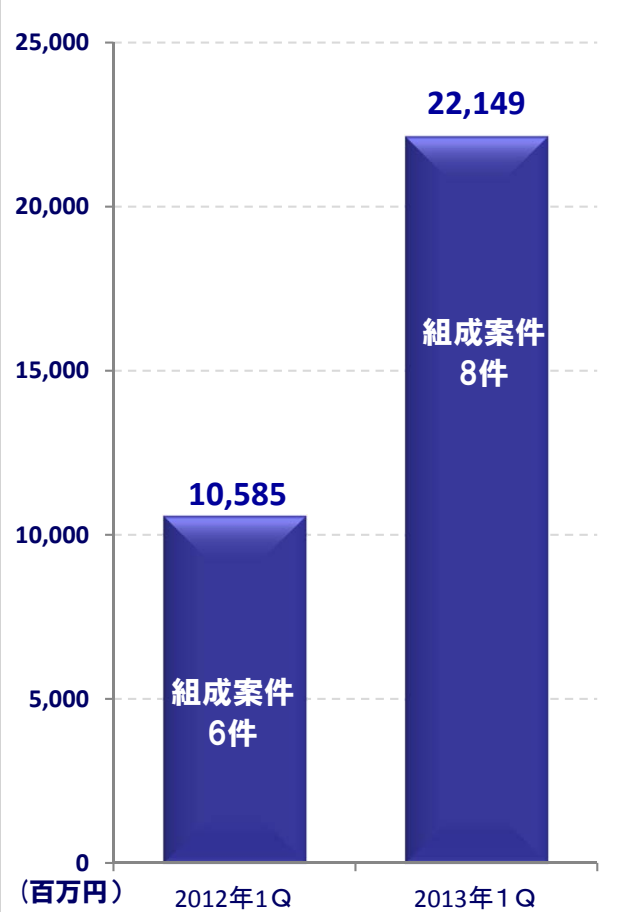
Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

2013年9月期　第1四半期　タックス・リース・アレンジメント事業の状況

FPG
Financial Products Group

オペレーティングリース組成総額

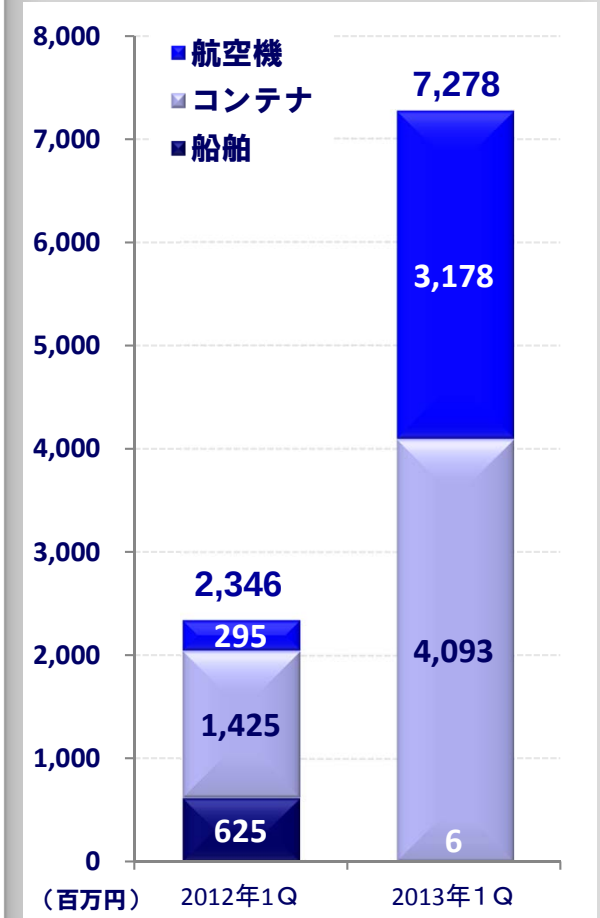
対前年同期比 109.2%増
通期予想進捗率　30.8%



＊　案件数に関してはSPCの数をカウント

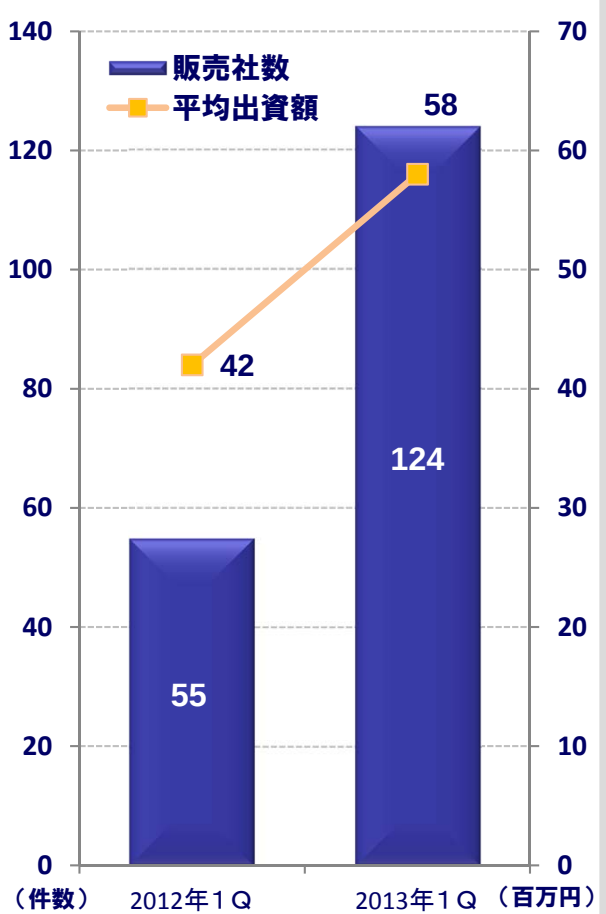
リース物件別出資金販売額

対前年同期比 210.2%増
通期予想進捗率　31.6%



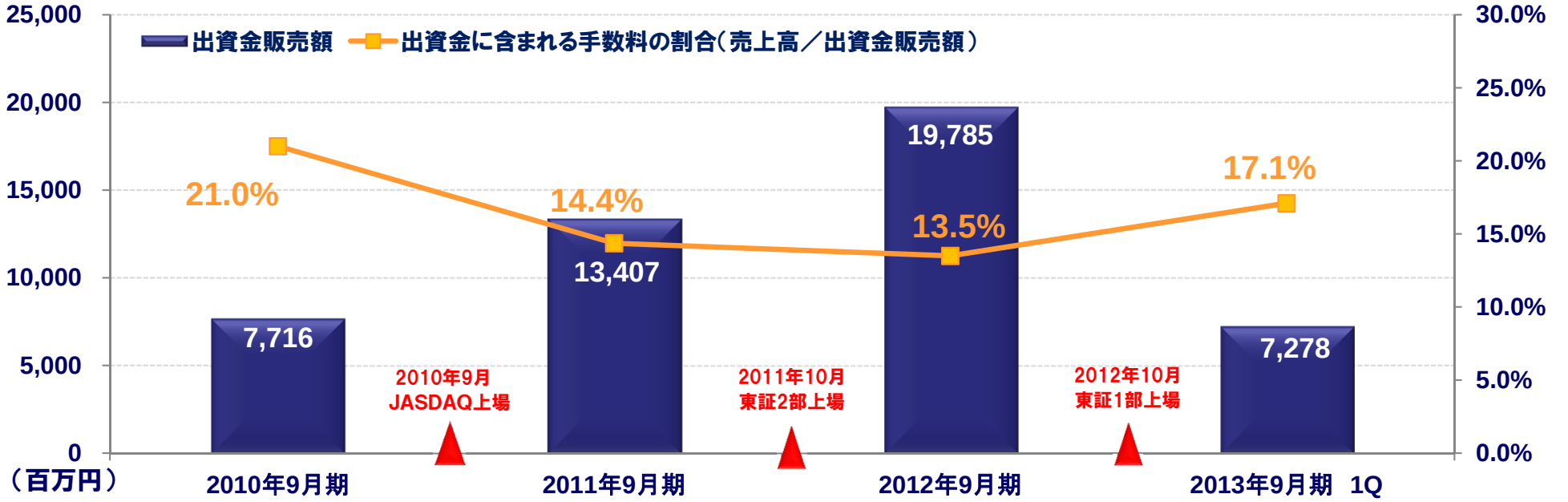
販売社数

対前年同期比 69社増
平均出資額　16百万円増



Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

2013年9月期 第1四半期　出資金に含まれる手数料について



（百万円）	2010年9月期	2011年9月期	2012年9月期	2013年9月期 1Q
売上高（注）	1,616	1,926	2,665	1,245
出資金販売額	7,716	13,407	19,785	7,278
出資金に含まれる手数料の割合（売上高／出資金販売額）	21.0%	14.4%	13.5%	17.1%

（注）出資金販売額＝リース事業への匿名組合出資金の販売額
売上高＝タックス・リース・アレンジメント事業に係る売上のみ集計

上場前

2010年までは、上場前であり、資金調達力不足のため、利益率の高い案件のみを選別して実行。結果、収益性が21%と高い水準に。

JASDAQ上場後

上場により信用力が向上し、資金調達力が拡大。旺盛な投資家需要への対応により、上場前には資金不足により見送っていた案件も、積極的に組成。この結果、上場後の収益性は13-14%台に低下したものの、他の金融商品に比べ、引き続き高い収益性を維持。

当四半期

当四半期においては収益性の高い商品を確保、また、組成・販売したことにより、収益性が改善。

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

2013年9月期　第1四半期　後発事象

FPG
Financial Products Group

証券業への進出に向けて証券会社の株式を取得

フィンテックグローバル株式会社（東証マザーズ：8789）から、同社子会社である
フィンテックグローバル証券株式会社の全株式を取得。
（予定取得価額：１７０百万円　うちアドバイザリー費用等10百万円）
金融商品の組成・販売及び金融商品に関するアドバイザリー業務を含めた証券事業へ進出。

株式取得の目的

同社の子会社化により証券業
（第一種金融商品取引業）のライセンスを取得。
当社顧客である業績好調な国内中小企業、
そのオーナー等、富裕層に対して
金融商品の提供が可能となる。

既存事業との相乗効果を図り、収益構造の
多角化を推進することで当社グループ全体の
業績向上を見込む。

株式取得後の体制（予定）

子会社化後、同社の経営体制を一新したうえで、
提供しているサービスを見直し、
新たなサービスの提供を図る。
当社代表取締役社長である谷村尚永が、事業開始まで同社の代表取締役を兼任する他、取締役及び従業員に、証券会社出身者の登用を予定。

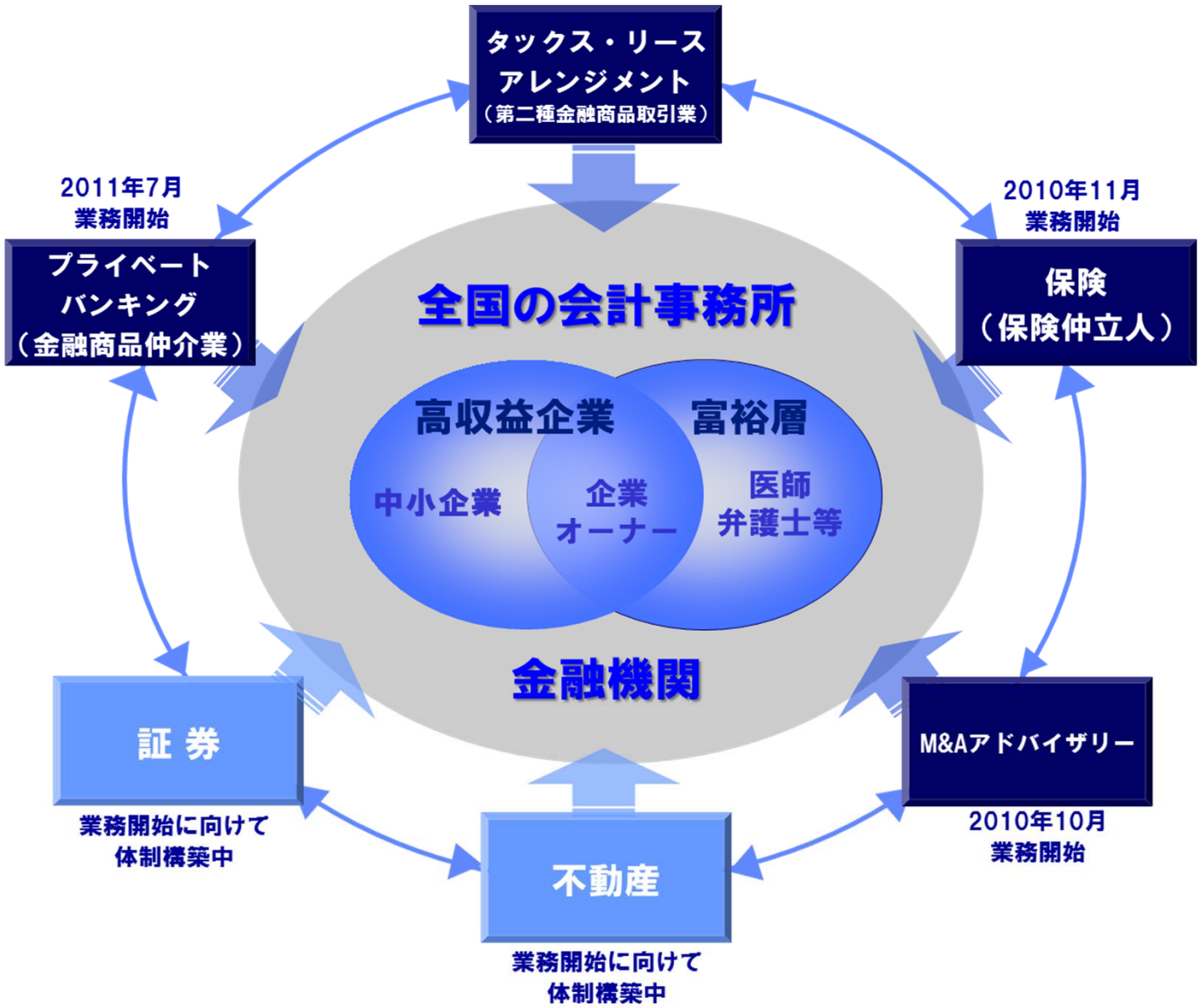
今期は、体制整備、システムの構築等、事業開始に向けた準備が中心となる予定です。コストに関しては人件費、システム償却費、子会社化に伴い発生するのれん償却費（のれんの総額は約60百万円程度の見込）等の費用が、収益に先行して発生すると見込んでおります。
なお、当社は、現在非連結会社のため、連結業績予想は公表しておりませんが、当該子会社化により、連結決算の開示が必要となる見込みです。連結の業績予想については、開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

事業概略図　収益構造の多角化に向けた取り組み

FPG
Financial Products Group

既存事業に証券業務、不動産業務を追加。取扱い商品のラインナップを拡充し、当社顧客である業績好調な国内中小企業、そのオーナー等、富裕層のニーズにあった金融商品の提供を行う。



Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

FPG
Financial Products Group

2013年9月期　第1四半期　財務ハイライト



2013年9月期　第1四半期　損益計算書

FPG
Financial Products Group

（百万円）	2012年 第1四半期	2013年 第1四半期	増減
売上高	343	① 1,297	954
売上原価	39	② 179	139
売上総利益	304	1,118	814
販売管理費	225	③ 293	68
営業利益	78	824	745
営業外収益	32	④ 9	△ 23
営業外費用	65	84	18
経常利益	45	748	703
特別損失	―	0	0
税引前四半期純利益	45	748	703
法人税等合計	23	289	265
四半期純利益	22	459	437

① **売上高　1,297百万円（+954百万円）**

（タックス・リース・アレンジメント事業売上高）　1,245百万円
（保険仲立人事業売上高）　41百万円
（M＆Aアドバイザリー事業売上高）　10百万円

② **売上原価　179百万円（+139百万円）**

案件組成コスト　30百万円(前四半期 13百万円)
顧客紹介者への支払手数料　148百万円(前四半期 25百万円)
→ 出資金販売が進んだことにより、支払手数料が増加。

③ **販売管理費　293百万円（+68百万円）**

業容拡大のため、営業部門を中心に積極的に人材採用を進めたことから、従業員数が前第1四半期41名から当四半期期末70名に大幅増加。人員増に伴い人件費＊は前第１四半期91百万円に比べ49百万円増加し、141百万円へ。

＊ 給与、賞与(引当金繰入額含む)、法定福利費、福利厚生費、人材採用費

④ **営業外収益　9百万円(△23百万円)**

当社はリース開始後に顧客(投資家)に商品出資金を販売した場合、経過分の利息を顧客(投資家)から徴収し、受取利息として営業外収益に計上している。
当期においては、前第1四半期に比べ顧客(投資家)からの引き合いが強かった為、リース開始前に販売を行う、私募の取扱いが多く、受取利息が減少。

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

2013年9月期　第1四半期　貸借対照表

資産　（百万円）	2012年9月期 期末	2013年9月期 第1四半期末	増減
流動資産	5,492	6,555	1,063
現金及び預金	1,987	1,556	△430
商品出資金	3,152	4,585	1,433
その他　流動資産	352	413	60
固定資産	426	561	135
投資その他資産	313	454	141
その他　固定資産	113	107	△6
資産合計	5,919	7,117	1,198

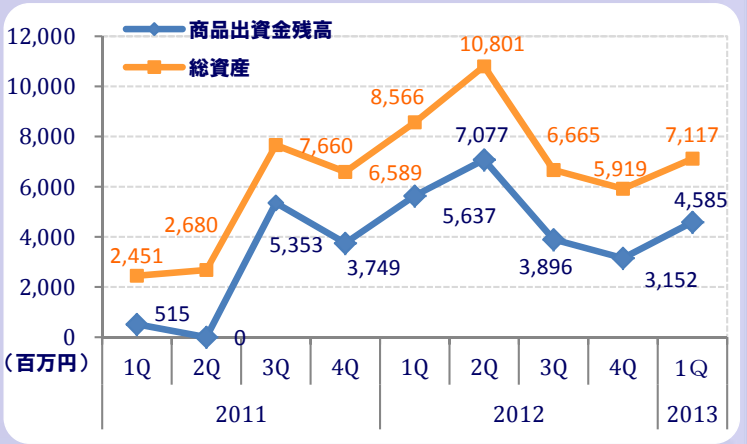
負債　（百万円）	2012年9月期 期末	2013年9月期 第1四半期末	増減
流動負債	3,096	3,063	△32
短期借入金	1,607	1,817	210
1年内返済予定の長期借入金	121	50	△71
前受金	557	545	△11
その他　流動負債	811	650	△160
固定負債	271	271	0
長期借入金	200	200	—
その他　固定負債	71	71	0
負債合計	3,368	3,335	△32

株主資本　（百万円）	2012年9月期 期末	2013年9月期 第1四半期末	増減
資本金	338	844	505
資本剰余金	288	794	505
利益剰余金	1,924	2,143	219
自己株式	△0	△0	—
純資産合計	2,551	3,782	1,231
負債純資産合計	5,919	7,117	1,198

1 商品出資金4,585百万円（+1,433百万円）

投資家需要の集中する第2四半期に向けて、商品出資金残高を積み増した結果、前期末に比べ増加したものの、当四半期の旺盛な投資家需要により第2四半期に販売を予定していた商品出資金を前倒しで販売したため、当初想定していた商品出資金残高に比べ、減少。

商品出資金の立替資金は主にコミットメントライン融資枠等の短期借入金で調達
↓
商品出資金を販売
↓
出資金販売代金の入金時に前受金が売上に計上される。



2 前受金545百万円（△11百万円）

前期末に比べ商品出資金は増加（+1,433百万円）したものの、前受金は11百万円の減少。前期末に、収益性の高い商品があったことや、当四半期末日後に入金予定の手数料（138百万円）があることによる。

3 長短借入金（社債含む）2,137百万円（+139百万円）

資金調達力の拡大を背景に積極的に組成を進め、商品出資金残高は前期末に比べ1,433百万円増加したものの、増資による払込金1,011百万円を借入金返済に充当したことから139百万円に留まった。

4 純資産　3,782百万円（+1,231百万円）

公募増資及び第三者割当増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ505百万円の増加及び当期純利益459百万円を計上した一方、前期期末配当240百万円の実施により純資産は1,231百万円増加。

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

2013年9月期　業績予想に関して

FPG
Financial Products Group

2013年9月期　上半期及び通期の業績予想に変更はありません。

（百万円）	2013年1Q（実績）	2013年上半期（予想）	上半期予想進捗率	2013年通期（予想）	通期予想進捗率
売上高	1,297	1,781	72.8%	3,364	38.6%
営業利益	824	910	90.6%	1,621	50.9%
経常利益	748	786	95.2%	1,469	51.0%
四半期（当期）純利益	459	456	100.7%	853	53.9%
オペレーティングリース組成総額	22,149	-	-	71,860	30.8%
出資金販売額	7,278	-	-	23,000	31.6%

当四半期の売上高は、上半期の業績予想の売上高に対して、進捗率が高くなっております。これは、出資金に対する、顧客（投資家）からの引き合いが極めて強いことから、第2四半期に販売予定であった出資金を、当四半期に前倒しで販売したためであります。

上半期においては、リース事業の組成額も、出資金の販売額も、概ね計画の範囲内であることから上半期業績予想の変更は行いません。各利益金額につきましては、第2四半期会計期間において、固定費的な人件費その他費用が、発生する見込みであることから、当該会計期間の売上高の水準を踏まえ、業績予想の変更は行いません。

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.

本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社FPG（以下、弊社）の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及び当社ＩＲに関するお問い合わせ先】

株式会社FPG　総務部

TEL　（03）5288-5691

URL　http://www.fpg.jp

Copyright Financial Products Group Co., Ltd. All Right Reserved.